



Personal MBA

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

企業は倫理的正しさにおいて、健全な経営を得る。企業倫理性は現実をなすのである。

これらは正しい社員の労働意欲の育成を与え、企業に正しい結果を与えるものである。

意欲はすべての源泉であり、正しい意欲の育成が社員の高い健全な労働意欲を実現できる。

これらは公正さという合意が企業において実現することは最も優れるものである。

働く企業が良い企業である。これは企業における正しい価値観の制定であり、マネーゲームとは相違するものである。

これら判断は、労働に対する対価をその基準において求めることは、必ずしも企業に対する利益の捻出に限定せず、真摯な労働態度や責任における評価を求めるものである。

これら倫理的経営の規範は、正しい労働意欲の育成を生み、健全な企業経営の確立を与えるものである。

これら健全な企業基盤が時代性における飛躍を実現できるものであり、それら生産性の拡大、自動化などのシステム、企業製品とサービスの向上など、時代性における企業の進歩が飛躍的な企業環境の向上を実現できるものである。

他方においたマネーゲームへ突入する企業との比較は、労働に対する評価でなく、金銭主義的な判断を有することにおいて企業風土を相違させるものである。

しかし最もシビアな現実はその企業がその経営において市場参加を有することにおける現実であり、優れた現実に対して企業がその吸収を求めることは、その企業の可能性の拡大を与えるものである。

これら善の経営という新たな指針は企業経営への判断を与えるものであり、経営者の正しい資質を提案するものである。

